

●北米合衆國製鐵業者の援助誓約の件

左の一編は本年四月二十六日紐育市合衆國鋼鐵會社の事務所に於て開催せられたる同國內主なる製鐵業者の會合に際し同國政府の鋼鐵供給監督「レプロツグル」氏か「ジャツヂグーリー」氏の開會演説に次ぎてなしたる演説の概要にして本年五月九日刊行の「アイオンエージ」誌上に掲載する處のものなり本編は同國內に於ける製鐵供給難を演述したるものにして曩きに同國政府と本邦造船業者との間に協定せられたる船鐵交換上大なる關係を有するを以て之を翻譯して參考に供す

諸君ジャヂ、グーリー氏は既に一般の狀態を遺憾無く述ふる所ありしを以て余は更に之を敷衍するの必要は無かるへし。一般世評の鋼材に過剩ありと稱する意見に反して余は鋼材には著しき不足ありて戰時の計劃を遲滞しつゝあるの事實を確信するものなり。

余は諸鐵業の能率か不充分なりと謂ふものに非ず。今茲に充分の燃料、充分の職工及充分の運輸機關を有するものと假定せば余は製鋼界に於ては戰時必需品は充分其の需要に應ぜらるゝことと信すと雖も、奈何せん吾人の有する燃料、職工及運輸機關は不充分にして且將來も然あらんとするを憂ふ。運輸の一事は眞に普く改善せられ居らすして一地方に改善あれば他地方に不振あるか如き狀態なり。現時の快晴なる天候と運輸狀態とを以てして猶現況斯くの如き

を思はゝ來らむとする冬の天候に對しては吾人は憂慮に堪えざるものあり、合衆國政府の建物の建設及計劃は今や將に一九一五年一九一六年及一九一七年の三年間に於ける合衆國の建物の建設總高を超過すること約二割に達す。一九一八年度の該計劃は尙ほ設計を完了するに至らざれども更に一九一九年度及一九二〇年度を考究しつゝあり。例へば昨日認可せられたるサウス、ブルークリン倉庫の如きは四千五百萬弗の經費にて主として鋼材を使用するものなれば此の工事のみにても五萬六千噸の鋼材を要す。且又吾人は幾百萬弗を算する幾多の病院を要すれとも政府は之を建設すること能はすして避暑地の旅館を徵發し國家の爲めに該建設の一部を節約しつゝあり。

而かも尙合衆國の建設計劃は實に莫大なるものあり諸君の豫想外に遙に大なるものなりと余は信するものなり。

板材の狀況

最重要なる鋼産の一たる板材に關しては吾人は過去三ヶ月間の製出の割合に依りて見るに帳簿面にては三十二週(約八ヶ月)間の製作殘高を有し、而して毎週受くる註文は多く其の週の製出高を凌駕するの勢なり。若干の戰時船舶材料を除けば是等は何れも即時の必要に迫られ單に我國の事業のみならず又聯合國の事業に要せらるゝものなり。吾人は今週間伊太利政府の爲め其の造船事業の急要する五萬二千噸の註文を爲すの要あり。此の五萬二千噸を伊太利政

府に提供するは當然の義務なり。然れども吾人は我國の造船及鐵道敷設に多大の影響を蒙らせずして之を奈邊に求め得べき。

英國よりの注文數量

吾人は昨日英國より一萬五千噸の追加注文を受取れり又既に陸續輸出せられつゝあるを以て、板材は三十萬噸乃至四十萬噸の額に達すへし吾人か英國に輸出する鐵板には今や引渡期限を後ること四、五ヶ月のものあり、最近の報告に依れば英國はパーシング將軍に約百萬噸に達する莫大なる材料を供給しつゝあり。是等の材料に對してパーシング將軍か板材及銑鐵の如き種類に於て我國より償却するに同意したる所なり吾人は今や英國に運送すへき六萬噸の鐵を製作しつゝあり、而して尙其の他の材料を製出せんとす、然れども吾人は過去の三十二週間中正に二十六週間は悉く合衆國及聯合國政府の注文製作に従事せり。

彈丸鋼材にありては吾人は尙三十六週間の製作殘高を有す、之れ何れも合衆國及聯合國政府の注文に屬せり其の筋の最近の報告に依れば彈丸鋼材の消費額か莫大の額に進み既に製鐵業者の豫定計畫の地點に到着せりと云ふ。

吾人は少くとも本年中聯合國及我國政府の爲に五百萬噸を製造するの要あるへし。

吾人は巨額の彈丸鋼材を軌條製作場内に於て製作しつゝあると共に軌條の狀況は活氣を呈し來り今や鐵道監督總監

は二百萬噸を要する旨を述ふるあるを以て軌條の製出を増加することあらは必然彈丸鋼材に關する吾人の困難は増進すへし。

過去三ヶ月間に於て製作し來れる割合に依れば軌條の製出は九十二週間（約一年と四分の三）の製造殘高を有し居れり、薄板は比較的其の數量小なれとも之とても過去三ヶ月間に於ける其の製出割合に於て二十四週間の製出殘高を有す、而して合衆國政府の或特別の注文にして數月間遲滯せられたるものあり。政府は更に約三萬噸の薄板を要すと雖とも既に注文せる他の重要なものの引渡に影響せずして之か注文を爲すこと能はす。又無接合管(Seamless tubes)に於ては吾人は從來の製造割合を以て二十七週間の殘高を有す、又建築形材(Structural shapes)は建築か節減せられたるを以て、比較的容易なるへしとは一般に信せらるゝ所なり。然れども百三十萬噸に達する急造船及新貨車の建造に加ふるに吾人か目下幾多の大形材工場に於て砲彈用棒材を製作しつゝあるの事實は一般の建物建築を大に節減したるにも拘らず、吾人か建築形材の所要噸數を獲るに可なり困難を感じつゝあることを知るに足れり。市場向鋼材に於ては二十八週間の製造繰越を有す。

仕上材料

目下製作中の建築形材に於ては政府直接の注文のみにても目下十四週間の數量を有し鍍錫鐵板(tin plates)は二

十三週間、管材は二十八週間針金及針金材料は十九週間を有す。之を各製鐵業者の鋼材製出報告に徴すれば吾人は過去三ヶ月間の製出割合に於て三十一週間の製造繰越を有し之を平均する時は一週間に付約六十四萬噸となり、又一年間に三千萬餘噸を超過す。加奈陀政府は極めて良好なる造船所を有するものなるか、一週間前吾人は該政府が七千噸級船一隻と他に五千五百噸級船一隻とを有する一造船所よりの交渉に接せるも吾人は該政府に鋼材を提供し得す。該政府にして若し鋼材を直ちに受取るに非ずんば是等の船舶をセント、ローレンス河の氷結前に遠洋の航海に就かしむること能はざるべし。

巴里の聯合會議は米大陸の諸港及合衆國の諸港に於ける貨物の滯滞を救済し且又シドニー及ハリファックスの諸港を利用すれば船荷の運搬に約四日の相違あるを以て之か目的を達せんか爲め加奈陀政府の貨車製造に要する材料を供給せむことの要求を受けたり、仍て吾人は加奈陀政府に若干の鋼材を供給するの要あり。

英國方法の提議

諸本會合を開催したるは戰時工業局 (War Industries

Board) より且つは合衆國大統領兼陸海軍總司令官の認可を得て材料の優先權其の他の事項に關する權能を大統領より委任せられたる「バアルク」氏個人より直接に余か受取りたる命令に依れるものなり。而して運送業者及燃料業者と協

議を遂けたる後缺くへからざる戰時の必要に應ずるもの、外鐵材の消費又は鋼材の製作を絶対に禁止するの英國方法を實際上採用することを可決せり。此の方法は英國が數年間採用し居るものにして余は今朝「グーリー」判事に英國の一會社が製鐵に關し監督官より免許狀を得ずして二噸の鋼材を製作したる爲百五十六磅の過料に處せられたりとの最近のアイオン、モンガー誌の記事を示し居たる所なり。

右の趣旨は鋼材の製作は特別の許可を得ざる限りA級及B級の優先權を有するものに限ることを要すと云ふに存せり、右罰則は亦古鋼材にも適用せられ居れり。

吾人は諸君の製品の大部分が検査及明細書の嚴重なる政府の材料たる目下の狀態にありては、規格に適せざる材料又試験未済の板材等ありて是等は無論何れも他の方面に轉用することを得べし、例へば槽^{タンク}及その他の使用に適すべきものなり。斯かる場合諸君が優先權證明書を有せざるか故に之を華盛頓政府に請求するの要あるべし。吾人は此の方法が可なり峻烈にして關係者一同の大に迷惑することを知り、余は實際此の方法が避けられ得んことを希望し居たり。

余は此の方法を行ふの嚴命に接したるを以て本會合の結果を見る迄之を差控ふることの許可を願ひ置けり。吾人にして列席の諸君より軍需品は從來よりも多量に先取權及優先權の註文を引請くべしとの確答に接せずんば此の法令は

直ちに實施せらるへし。

二週間前上院委員會に臨みて可なり過激なる質問に會へる際余は鋼鐵業は需用に應じ漏れ無く營業者か協同一致し居る由を述べたり。概して一致し居れりと雖とも諸君中の若干は之に與らず是吾人の遺憾とする所なり。

吾人は諸君か是々には鋼材の不足あり、又燃料の不足ありて作業すること能はすと云ふ申出を聴取らず。然れども兎に角其の不足は政府の必需品に影響するか如し、英國の彈丸の注文を有する契約者は何れも其の引渡を大に遲滞し中には三四ヶ月に及ぶものあり、鍛造工場は閉塞せられて吾人は鋼材を獲ることを能はざりき。

少許は用を爲さず

ヘーグ將軍の言の如く彼等の背後は壁に妨けられ而してカイザーは一時も猶豫するものにあらざるを以て彈丸を獲るの方法他にあらは彈丸を呆然として待つものにあらざるなりと。若し燃料及塊鋼にして不足する所あらは比較的重要な製出を減し比較的重要なる政府の必需品は其の材料を製出せしむべき優先權の法令を有せざるへからず。吾人は諸君か事業の一片をなすを望むものにあらすして諸君の事業の總てを要するものなり。

今や危急の秋なるを以て諸君よ商業主義は絶對に見合はすべきものなり。吾人の爲すべき事業は唯一の戰勝にあり、之を爲すには充分の鋼材を吾は政府に供給せざるへからず

之諸君の職務にして又余の義務なり。又是等は余の受けたる訓令なるを以て余は諸君に之を明瞭に告げざるへからず政府は最早若干製鐵會社の行動を默認せざるへし。吾人は今や塊鋼の製出を照査するの役員を有す。吾人は各塊鋼は奈邊に使用せられ且奈邊に塊鋼又は銑鐵の過剩あるかを明にせむと欲するものなり。諸君中には吾人か何れかに過剩を有して之を商業上の注文に應せしめ得ることを云々する者あり。吾人は諸君の製鐵所に到りて政府の徵發命令によりて銑鐵を徵發せむとす或は鋼材を徵發して若し他の製鐵業者にして政府用材料の製作に不足を感じるものあらは之を供給せむとするものなり。之は絶對に決議せられたるものなり。目下製出せられつゝある非戰用材料の割合は過大なりと思料す。

一月十七日附のガーフイルド法令は甚だ峻嚴なるものとして吾人の齊しく大に非難したる所なり。然りと雖とも吾人か華盛頓に於ける「Charles」圖表を調査して當時の鋼材製出の趨勢か比較的重要なる製出品に於て五割以上減退したることを解し、且該法令後直ちに同し製出品の積出か改善したる所あるを思へは當時之は爲すべき唯一の方法たりしことを疑ふこと能はず。幾百隻の船舶は石炭缺乏の爲空しく繋纜せられ居たり。吾人は鋼材に於て諸君を煩はさず又吾人はガーフイルド博士か石炭に於て達したるか如く鋼材に於て之と同一の位置に達せむとするものにあらず。余

及余よりも遙かに之か判定を下すに好位置なる人々の意見に依れば、今年冬期の燃料状況は昨冬に比して遙かに險惡ならむとす燃料業者は之を豫期し且鐵道業者も多く之を豫期す。之は鐵道の不能率に依るものにして殊に東部諸州に於て然りとす、是必要なる工業の迅速なる發展及大倉庫の建設等か鐵道狀況を益々錯雜たらしめつゝある所以なり。自動車製作業者は數日ならずして華盛頓に呼出さるへし。

其の會合に於ては彼等は其の製作率を大に制限せらるゝ模様なり昨日余も臨席したるバアルク氏の召集したる評議會にはハアレー氏ビー、エイ、エス、フランクリン氏、戰時商務局 (War Trade Board) 及其の他の代表者も出席したるか其の評議に依りて船舶狀況は甚だ逼迫し居りて戰時材料以外の輸入品を制限することに關して極めて峻嚴なる規則を設けさるへからさるゝことを發見せり。余としては政府はマンガニーズに對して餘り嚴重なる制限を爲したるものと信す。此の點に關しては明日フアーレル氏レーエス氏及サンフォード氏は悦んで諸君と意見を交換する所あるへし。此の點に關しては戰時商務局の方針を非難するものあり、旁々吾人はマンガニーズ問題を迅速に解決せさるへからす。フアーレル氏の説明の如くマンガニーズ問題にして左程逼迫し居るものならば此の制限は即時改正せらるゝ筈になり居るを以て此の評議後改正せらるゝことゝなら

巨額の用途

諸君然も事情の突發しつゝあるものは一再に止らす。事は機密に屬して余は之に論及すること能はさるも莫大なる鋼材を要するの一事件あり。茲に余か諸君に告げ得るものは鋼材の各業に於ける政府の計劃は余か商業新紙上に見る豫定よりも遙かに前進し居れり。若し諸君か之を知らは必ず目下緊急なる必要を解し得へしと云ふにあり。茲に到りて余は諸君に歎願する所あり。余は諸君か今日此點に達し居らすと云ふ者に非ず。然れども若し諸君にして商業主義を全然見合すの點に達し居らすんは此際速かに之を實行されむことを歎願す。而して列席諸君の保證を得は製鐵業者は各自其の努力を軍需品に全然傾倒し以て鋼材狀況を改善して他の比較的重要なならさるものゝ注文に應し得るに到り且吾人か今や諸君の事業を管理せむとするの必要を避け得るに到ることは余の信する所なり。

既に鐵道業者には多少政府の管理を受け居るものあり。余は今日製鐵事業に従事するものに非ずと雖も製鐵業者に於て各自奮勵努力して戰勝の一事に當らすんは近く法令の發布せられむとするを恨事とするものなり。

新貨車計劃に於て政府の要したるベッセマー鋼材は百三十萬噸なり。吾人は政府にしてベッセマー鋼材を使用せむとせば其計劃を進捗して可なりと告げたり。蓋しベッセマー式又は平爐の鐵板の何れを製作する乎は製鐵業者の任意

にして之は政府の承認したる所なり、尙亦政府は剪斷又はユニヴァーサル鐵板の何れを製作する乎は鐵板製作者の任意に屬することを承認せり且政府は此貨車計劃を遂行するの鋼材を充分穫る爲其の製鐵工場を大に活動せしむることを同意せり。吾人は軌條の問題を有す之は政府の考究中に屬し而して鐵道業者の非難ありと雖とも政府は目下註文中の軌條を可なり多くベッセマー鋼材を以て製作することを承諾せり、而して鐵道業者は目下の場合其の止むを得ざることを認め、若干の幹線鐵道を除きて承諾するに至れり。尙氏は職工問題に論及して曰く職工は重要な事業には其の最高率の作業をなさしむる程度に於て供給せらるへし云々。

●北米合衆國職工調節局に於て制定したる造船職工に對する給料作業時間及其他の規定

米國職工調節局に於ては南大西洋岸及灣内地方北大西洋岸及ハドソン河地方並に太湖地方の造船業に従事する職工に對する給料、作業時間、作業條件及其の他の事項に關し造船業者と使用人間に協議を遂けしめ其結果南大西洋岸及灣内並に北大西洋岸及ハドソン河の兩地方は一九一八年四月六日附を以て太湖地方は四月十九日附を以て各其決議を發表せり其の條項は各地方共殆ど同様なるを以て左に最近の發表に係れる太湖地方のものを掲げ參考に資す。

太湖地方造船職工に對する給料、作業時間及其他の規定

(一九一八年四月二六日ゼオフィシヤルブルテイン所載)

造船職工調節局は太湖地方造船所の給料作業時間及其他の事項に關する左記の決議を發表せり。

第一條 本局か造船事業の進捗上最も阻碍を及す一大原因なりと認めし被雇者の轉々たる移動は一般に競争區域間に於ける待遇上の條件を齊一にすることによりて有効に之を阻止することを得へし

湖水沿岸及湖水より沿海地に到る運輸上の便宜に依り太湖地方は今や北大西洋沿岸と同様なる競争場裡となるに到れり、其の事由は單に被雇者か高給に誘はれて湖水地方の造船所より大西洋沿岸に移動する者のみに非らざることは各造船所間に於て支拂はるゝ賃金か確に統一せらるゝに徴して明なり例は本年二月十四日にデラウエア河及バルティモア地方に對する給料標準を一定し其の決議を實施せし以前に於てバツファロー、クリヴランド、デトロイト、市俄古の造船所及フライデルフィア、バルティモアの各造船所の支拂へる給料か全く同様なる事實に徴して之を證明し得へし

本局は四月八日より十日に到る間に提出されたる太湖地方の造船所に於ける被雇者の給料及其他の事項に關する

總ての證左を慎重に調査したり然るに本局が曩に北大西洋沿岸造船所の爲め設定せるものと同様なる標準給料、作業時間及其他の規定を設定するときは各部の使用人に對して充分なる措置を爲し得へしとの結論に到達せり、該標準給料は確かに目下此等の造船所に於て支拂はるゝ給料を殆んど全般に亘りて増加することゝなるへきも各處の被雇者の給料か此の變更に依りて減少せられざることを明確にする爲本局は明に斯の種の給料か本決議に依りて變更又は影響せられざることを布告する規定（第四）を挿入せり

第二條 大湖地方の爲本審査に依りて一定せられたる時間及請負仕事の賃率は戰時船舶社團の承認を経て是等の造船所に實施せらるへき四月一日の日附前に於て造船所主及使用人間に書式を以て他の協定を爲せる場合を除き四月一日まで溯りて適用せらるゝものとす

時間仕事の方法に依る使用人への拂戻額を決定するには本局の一定したる新時間賃金に其の使用人か溯りて適用を受くへき日附より新賃金標準實施の日附迄に就業せる總時間數を乘し其の積數より其の使用人か仕事に對して受取りたる全賃金、各種の賞與金及臨時手當を合算したるものを引き去りたるものを以て使用人の受取るへき拂戻額となす

勤勞時間の總數を定むるに際し時間外の勤勞に對し従前

の賃率により支拂はれたる時間は新賃率に於ける所得の計算に於ても既定率により時間外の勤勞として計算す、然れとも其の他の時間は總て普通の時間として計算すへきものとす、請負職工は四月一日又は他の溯りて適用を受くへき日附より本決議の實施に従ひて請負賃率か設定せらるゝ日附迄の請負仕事に於ける其の全所得の一割五分（15%）の拂戻を受くるものとす、日雇職工及請負職工の請取るへき拂戻は之を決定すへき精算か監査部に依りて調査認可せられたる時は直ちに支拂はるへきものとす

第三條 雇用時間に關して本局は本審査に網羅せる該地方の全造船所の爲左記の規定を定むるものとす

一、月曜日より土曜日迄八時間を以て一日分の作業とす但し六月七月及八月の期間は土曜日の作業は四時間とす

二、週間に於て前記以來の時間に於ける船舶建造の作業は時間外の作業として計算せられ一倍半の賃金を支拂ふ

三、日曜日及左記の祭日に於ける船舶建造の作業は二倍額の率を以て支拂ふものとす、新年祝日、ワシントン誕生日、招魂祭日、獨立祭日、勞働祭日、感謝祭日、基督降誕祭日及各州及米國の選舉日に於ける半休日
四、普通週間の規定時間を超ゆる修繕中の船舶及附隨修繕工事並日曜日及前述の祭日に於ける修繕作業は時間

外の勞働として計算し二倍の賃率を以て支拂はるべきものとす

五、夜業に従事する職工は晝業に従事する職工の賃金より五分(5%)高率なる報酬を受くるものとす

六、官營工業の賃金は八時間を基礎とす、普通の日は午前八時に始業し午後五時に終業す晝食時間は一時間を規定とせり午後五時後及午前八時前の雇用時間は夜業の時間として計算し前規定の特別賃金を受け得るものとす

七、使用人に對して一日十二時間又は一週六十時間を超過する作業は海軍省又は戰時船舶社團の命令ある場合又は危急に際し生命又は財産を保護する場合の外之を許可せざるものとす

本局か一日及一週の最大限度の作業時間を規定せる目的は職工か時間外過度の勤務に従事し爲に其の能率を減し其の結果は單に經費を増加するのみに止まらず製産額の減退となるべきを以て之を阻止するにありとす本局の希望する所は亦二回及三回交代の作業方法を採用せんことを獎勵するにあり

造船所に於て二回又は三回交代作業を實行するの容易なることは既に明確に證明せられたる所にして本局は該地方の造船所か速かに交代作業の回數を増加するの手段を講せむことを勸告するものなり又交代作業の回

數を増加せむには出來得る限り晝間の時間を使用することを要す、此の方法實行上汽車の發着又は其他運輸上の變更を要する場合には戰時船舶社團の運輸課の援助を請求することを得へし本局は修繕工場に於ても亦戰時中工場の全能力に使用せらるべきを以て交代作業を實行し得へしと信す

第四條 造船所の所有者は作業紛議の協定機關に就きて左記の規定を實施するに被雇者と協力することを要す

(一)工場又は造船所に於ける各職工又は日雇人工場委員會の委員として雇人を代表する三名を其の人數中より選出するの權利を有するものとす、本委員會の各委員は被雇者か指定する方法に依る秘密投票の多數決を以て選出せらるものとす、斯の種の工場委員會の會長は聯合工場委員會の委員とす

(二)紛議の生じたる場合に於ては之を職工又は日雇人の委員會に依り職工長又は總職工長同席にて研究せらるゝものとす、若し其の紛議にして調停を得ざる場合に於ては聯合工場委員會に依り最初は監督者同席にて、又其の調停か纏らざるときは該會社の高級役員同席にて研究せらるゝものとす若し其の事件にして聯合工場委員會及此等の役員間に於て調停の纏らざる場合は聯合工場委員會は委員會の選出せる一名の代表者を以て評議に當てしむる權利を有するものとす而して斯の評

に於て満足なる調停を爲し得ざる場合には其の紛議は本局を創設せしむ千九百十七年十二月八日の覺書の規定に従ひ造船職工調節局の任命すべき審査官に上申するものとす

三、本規定に依り任命せられたる委員にして紛議の調停の爲茲に規定したる方法により正當なる調査を遂けたる後正當なる又は充分なる理由なくして解雇せられたるものと認めたるときは其れかため空費したる時間に對する全部の給料を支拂して之を復職せしむるものとす

第五條 見習職工雇入に關する問題は紛議の調停に對し茲に規定せられたる方法に依り調停の爲研究せらるべきものとす

第六條 國家危急の秋に際し過去に於ける雇主及被雇者間の異議は船舶の最大限度の數を製出せんとする共通の決心に於て忘却せらるべきものと信するを以て本局は勞働同盟員及非勞働同盟員間又は雇主側及被雇者側間待遇上の差別を許さざるものとす

第七條 被雇者は少くも一週間一回會社の支拂日に支拂を受くべきものとす

而して其の支拂は如何なる場合に於ても之を五日以上延期することを得す

第八條 休職又は解雇せられたる被雇者は二十四時間以内

に其の當然受くべき給料を總て受取るべきものとす

第九條 被雇者は保險、醫療、設備又は其他の恩典に對する賦課の支拂を就業する造船所より請求せらるゝとなし

第十條 適當なる醫療應急手當は被雇者の爲に雇主か之を支給し其の費用を支辨すべきものとす

第十一條 造船所主は其の被雇者の爲に充分にして衛生的なる便所、洗面設備及純良飲料水を夏期には適度に冷却して支給することを要す

第十二條 本局管轄下の大湖地方の全造船所に依り各種類の被雇者に支拂はるべき給料の最小率は本審査の重要部分爲す追加目錄(表示A)に掲ぐるものとす

各種被雇者に對して一率以上の規定ある場合には其の被雇者は中間の率に依るに非らずして當人か所屬する等級に對する規定率を支拂はるべきものとす但し本文は雇主か一等級の日雇職人に對して規定したる最小限度の率以上を特別熟練の被雇者に支拂はんとするを禁するものと解釋せざるを要す

第十三條 本局は鋸打、^{サッピシグ}鑿削及^{コギシグ}填隙部の如き工事には單に雇主側のみならず亦被雇者側に於ても請負賃率方法の利益なることを認め、デラウエアー河岸に於ける請負賃率を均一ならしむる爲本局は該地方の造船所及請負者の代表者間に協議を命じたるか其の結果は茲に附録として掲ぐる均一請負率の標準となれり之れ大湖地方造船所に於

ける建造中の船型に適切なる均一請負率の標準に對するの基準となるべきものとす、此均一請負率の標準は該地方の審査官を任命せらるゝや直ちに該官に依りて此の目的の爲或る便宜の個所に召集せらるゝ該地方の造船所及請負職工の代表者の同意を経て本局に推舉すべきものとす、而して本局の承認を得は該請負率は請負職工を雇使する該地方の全部の造船所に於て採用せらるべきものとす

第十四條 現に本規定の最小率以上に各被雇者に支拂はれ居る給料の一時間又は一週間率は本率の制定に依り決して變更又は影響せられざるものとす

第十五條 本決議に含まれる職業に對する給料率は審査官に之を報告するを要す審査官は其の申出の率の適否に關して關係造船所主又雇人と評議を凝らし而して本局の承認又は變更を仰ぐ爲推薦書を上申するものとす、本局の斯の報告書及推薦書に基きて各職業に對して均一最小限度率を決定することあるへし

第十六條 海軍省及合衆國船舶局戰時船舶社團の規定に依る本局の管轄は海軍省又は戰時船舶社團と直接契約を爲せる造船所海軍省と「ランプサムコントラクト」契約以外の契約を爲せる造船所及斯の契約に關聯する作業に従事する被雇者に限らるゝものとす、本決議の規定は單に以上確定せるか如く本局管轄内の造船所及造船所の被雇

者に適用せらるゝものにして私人間の契約又は斯の契約に關聯する作業に従ふ雇人に適用せらるゝものに非す

第十七條 本決議に規定せる率及其他の條件は特に明示せらるゝ場合の外千九百十八年五月一日水曜日又は夫以前に於て之を實施するものとす

局長

ザイ、エヴェリットマシイ

ルイス、エー、クリーツヂ

エー、ジェー、バーレス

左の但書を附して之を認可す

本官の意見に於ては本局の判定は雇主及被雇者間の紛議か當該關係者間の和解又は調停の不調に歸する惧なき造船所に課するの意向は明かに之を否認せらるべきものとす、本局は本局の設立せられたる覺書に従ひ斯の造船所に對して何等の管轄を有せず本局の設立は重要な戰時の危急に應せんか爲にして本局の機關は雇主又は被雇者の團體をして斯の團體を永久に鞏固ならしむる爲又は職工の物議か作業の効果を危険ならしめ又は製出を阻碍することなき造船所の勞働狀態を變更する爲之を行使すべからざるものとす

ルイスエー、クリーツヂ

千九百十八年四月十九日

デー、シー、華盛頓

A 表示

鋼船建造所に於ける各種の日雇工、専門工、助工及日雇人

に對する最小限度の給料率左の如し

アセチレン部 Acetylene department

一時間の率

燃工、一等 Burners, first Class

〇、六五弗

燃工、二等 Burners, Second Class

〇、六〇弗

碾工 Grinders

〇、五〇弗

鑿削工 Chippers

〇、五〇弗

鍛接工 Welders

〇、六五弗

助工 Helpers

〇、四六弗

型材鍛冶部 Anglesmiths department:

型材鍛冶工、強火力 Anglesmiths, heavy fires

〇、八七半弗

型材鍛冶助工、強火力 Anglesmiths, heavy fires helpers

〇、五五弗

型材鍛冶工、其の他の火力 Anglesmiths, other fires

〇、七二半弗

型材鍛冶助工、其の他の火力 Anglesmiths, other fires helpers

〇、四六弗

型材及板材の火爐工(造船工事) Furnace men of shapes

and plates(ship work) 〇、八二半弗

電氣鍛接工 Electric welders

〇、六五弗

鐵鍛冶工場 Blacksmith shop

鎚及機械鍛冶工重々方 Hammer and machine forgers,

heavy 一、二五弗

加熱工 Heater

〇、五五弗

挺工又は起重機工 Levermen or Cranemen 〇、七〇弗

助工 Helpers

〇、五〇弗

鎚打工重々分 Hammer runners, heavy

〇、五五弗

鐵鍛冶工、強火力のとき Blacksmiths heavy fires

〇、八七半弗

鐵鍛冶助工、強火力のとき Blacksmiths, heavy fires

〇、八七半弗

鐵鍛冶工、其他の火力のとき Blacksmiths, other fires helpers 〇、五五弗

鐵鍛冶助工、其他の火力のとき Blacksmiths, other fires 〇、七二半弗

鐵鍛冶助工、其他の火力のとき Blacksmiths, other fires helpers 〇、四六弗

墜鍛冶工 Drop forgers 〇、七〇弗

墜鍛冶助工 Drop forgers helpers 〇、五〇弗

螺釘製作工 Boltmakers 〇、七二半弗

螺釘製作助工 Boltmakers helpers 〇、四六弗

日雇人 Laborers 〇、四〇弗

挿金鍛冶工 Liner forgers 〇、五五弗

挿金鍛冶助工 Liner forgers helpers 〇、四六弗

汽罐工場 Boiler shop

汽罐工 Boiler makers 〇、七〇弗

錐工(汽壓錐) Drillers(pneumatic) 〇、六〇弗

取附工 Holderson 〇、五〇弗

鉸釘加熱工 Rivet heaters 〇、四〇弗

曲緣機工 Flange turners

〇、七五弗

助工 Helpers

〇、四六弗

扁板火爐工 Slab furnace men

〇、七五弗

平削機工 Planer hands

〇、五五弗

螺釘及板挿金部 Bolting and liner department

螺釘工 Bolters

〇、五〇弗

挿金工 Liner men

〇、五四弗

助工 Helpers

〇、四二半弗

セメント部 Cement department

セメント工 Cementers

〇、五〇弗

助工 Helpers

〇、四二半弗

鑿削及填隙部 Chipping and Calking department

試験係工 Tank testers

〇、七〇弗

鑿削工及填隙工 Chippers and Calkers

〇、七〇弗

填装工 Packers

〇、五〇弗

掃除部 Cleaning department

組長 Leader

〇、五五弗

日雇人 Laborers

〇、四〇弗

銅鍛冶部 Coppersmith department

銅鍛冶工 Coppersmiths

〇、七二半弗

鉛管工及管取付附工 Plumbers and pipe fitters

〇、七二半弗

× 管包装工 Pipe Coverers

〇、六五弗

助工 Helpers

〇、六五弗

穿孔及擴孔部 Drilling and reaming department

錐工 Drillers

〇、六〇弗

擴孔工 Reamers

〇、五〇弗

電氣部 Electrical department

電氣工、一等 Electricians first Class

〇、七〇弗

電氣工、二等 Electricians second Class

〇、六五弗

電線工 Wiremen

〇、五五弗

木工 Joiners

〇、七〇弗

機械工、一等 Machinists, first Class

〇、七二半弗

助工 Helpers

〇、四六弗

組立部 Electing department

組長 Leading men

〇、八五弗

組立工、一等 Marine erectors, first Class

〇、七二半弗

組立工、二等 Marine erectors, second Class

〇、六二半弗

専門工又は雑工 Specialist or handy men

〇、五二弗

助工 Helpers

〇、四六弗

取附部 Fitting-up department

取附工、一等 Fitters, first Class

〇、七二半弗

取附工、二等 Fitters, second Class

〇、六五弗

調整工、一等 Regulators, first Class

〇、六〇弗

調整工、二等 Regulators, second Class

〇、五二半弗

助手 Helpers

〇、四六弗

鑄物部 Foundry Department

製型工 Molders

〇、七二半弗

鎔爐係 Cupola tenders

〇、七二半弗

助工 Helpers

〇、四六弗

手力及機械鑿削工 Hand and machine Chippers

〇、五弗

日雇人 Laborers

〇、四弗

鎔爐部 Furnace department

組長 Leaders

〇、六七半弗

火夫及助工 Firemen and helpers

〇、五五弗

鎚打夫 Strikers

〇、五五弗

船體附屬機關部 Hull engineering department

組立工、一等 Marine erectors first Class

〇、七二弗

組立工、二等 Marine erectors, second Class

〇、六二半弗

専門工又は雑工 Specialists or handy men

〇、五二弗

木工 Joiners

〇、七〇弗

助工 Helpers

〇、四六弗

指物工部 Joiner department

指物工 Joiners

〇、七〇弗

機械工 Machine men

〇、七〇弗

助工 Helpes

〇、四二半弗

木材部 Lumber department

機械工 Machine men

〇、六五弗

助工 Helpers

〇、四二半弗

機械工場 Machine shop

機械工、一等 Machinist, first Class

〇、七二半弗

機械工、二等 Machinist, second Class

〇、六二半弗

専門工又は雑工 Specialists or handy men

〇、五二弗

金屬磨工彈機工及鐵板工 Metal polishers, buffers, and

platers

〇、七〇弗

助工 Helpers

〇、四六弗

材料係部 Material labor department

機關車機關手 Engineers, locomotive

〇、六五弗

機關車カンチベラー、ガントリー、及其他の三噸以上の

起重機の作業工 Operators, locomotive, cantilever gantry

and other cranes of over 3 tons

〇、七〇弗

硬脚動臂起重機作業工 Operator, stiff legged derricks

〇、六五弗

揚卸器及移動器火夫 Hoisting and portable firemen

〇、五〇弗

機關車運轉手 Locomotive conductors

〇、五〇弗

道路起重機運轉手 Road crane conductors

〇、五〇弗

現圖場 Dold loft

組長 Gang leaders

〇、八五弗

ロフスマン、一等 Loftsmen, first Class

〇、八二半弗

ロフスマン、二等 Loftsmen, second Class

〇、七二半弗

木工 Joiners	〇、七〇弗	取次工 Passer boys	〇、三〇弗
助工 Helpers	〇、四二半弗	助工 Helpers	〇、四六弗
塗料部 Paint department		船匠部 Ship carpenter department	
塗料工及磨工 Painters and polishers	〇、六〇弗	船匠、一等 Ship carpenter, first Class	〇、七〇弗
瀝青塗料工 Bitumastic painters	〇、七二半弗	船匠、二等 Ship carpenter, second Class	〇、六五弗
助工 Helpers	〇、四二半弗	助工 Helpers	〇、四六弗
木型部 Pattern shop		造船部 Ship shed department	
木型製作工 pattern makers	〇、七五弗	穿孔工 Punchers	〇、五五弗
日雇人 Laborers	〇、四〇弗	平削工及嵌接工 Planer and scarfer	〇、五五弗
艀裝部 Rigging department		埋頭工 Countersinkers	〇、五五弗
艀裝組長 Marine leaders	〇、七五弗	錐工(鑽孔機の作業工) Drillers (operators of drill presses)	〇、五五弗
裝索工 Marine riggers	〇、六二半弗	撓機工 Bending rollers	〇、七〇弗
起重機係長 Crane leaders	〇、七五弗	打切機工 Mangle rollers	〇、五七半
起重機組長 Crane gang leaders	〇、六七半弗	壓機工、一等 Pressmen, first Class	〇、六二半弗
起重機工 Cranemen	〇、六〇弗	壓機工、二等 Pressmen, second Class	〇、五五弗
組立組長 Erector leaders	〇、六〇弗	オフセッター Offsetters	〇、五五弗
組立工 Erectors	〇、五〇弗	木挽工 Sawyers	〇、四七半弗
鉸釘部 Rinetng department		助工 Helpers	〇、四六弗
鉸釘試驗係工 Rinet testers	〇、八〇弗	通風部 Ventilation departments	
足場建設工 Stage builders	〇、五七半弗	薄板工 Sheet-metal workers	〇、七〇弗
鉸釘工 Rineters	〇、七〇弗	助工 Helpers	〇、四六弗
支持工 Holders-on	〇、五〇弗	各部 All departments	
加熱工 Heater boys	〇、三八弗		

Layers-out は該部に於ける一等日雇職に比し三仙の高給を受くるものとす

日雇人 Laborers

〇、四〇弗

普通日雇人 Common Laborers

〇、三〇弗

鐵造船所に對する以上の明記率以外木造船の雇人に對する

最小限度の給料率左の如し

ロフスマン、一等 Lofsmann, first class

〇、八二半弗

ロフスマン、二等 Lofsmann, second class

〇、七二半弗

船匠、一等 Ship carpenters, first class

〇、七〇弗

船匠、二等 Ship carpenters, second class

〇、六五弗

指物工 Joiners

〇、七〇弗

製材工 Millmen

〇、七〇弗

填隙工 Caulkers

〇、七〇弗

取付工 Fasteners

〇、五五弗

擴孔工 Reamers

〇、五五弗

オフセッター Offsetters

〇、五五弗

組立工 Erectors

〇、五五弗

船匠助工 Carpenters helpers

〇、四六弗

日雇人 Laborers

〇、四〇弗

填絮製作工 Oakum spinners Common

一包に付 二、二五弗

普通日雇人 Labourers

〇、三〇弗

鐵鋼業の將來 製鐵業と云ふも大體に於て(一)製鉄

事業(二)製鋼事業の二に大別し更に之を幾多の小部分に區別するを得へし而して周圍の事情に依り或は製鉄業の有利なる時あり或は製鋼業有利の時あれと鋼材の需要にして増加せされは從つて製鉄業も盛況を示す能はず今明治三十五年以降我國鋼材需要増加の趨勢を示せは左の如し。

年次	内地產出額	輸入額	合計	輸出額	差引需要額
明治卅五年	三	一九三	二二三	五	二二八
同三十六年	三九	二二	二七一	四	二六六
同三十七年	五九	二五三	三三三	三	三三〇
同三十八年	七二	三七八	四四九	三	四四五
同三十九年	六九	三四八	四一七	四	四二二
同四十年	九〇	四六四	五五四	一七	五三七
同四十一年	九九	四三九	五三九	一一	五二七
同四十二年	一〇三	二八〇	三八三	一五	三六八
同四十三年	一六七	三六六	五三三	一七	五一六
同四十四年	一九一	四八八	六八〇	二五	六五四
大正元年	二九	六四〇	六六〇	三七	八二三
同二年	三五四	五四三	七九八	三三	七六五
同三年	二八二	四〇八	六九〇	二九	六六一
同四年	三三五	二四三	五七八	二五	五五三
同五年	三八四	四五四	八三八	一九	八一九
同六年	五九	六七五	一二〇五	三三	一二八二

以上の如く鋼材需要は漸次増加の形勢にあり明治三十五

64 年の鋼材需要額は二十一萬八千噸なりしに滿十ヶ年後なる明治四十四年に於ては六十五萬四千噸即ち三倍の需要増加にして製鋼業者間に唱へらるゝ「我國は十年に二倍半の需要増加」を超過せる譯なり而して明治四十四年以降と雖も敢て需要増加の趨勢を停止せず昨六年度に於ては百十八萬噸の需要ありたるか假に明治四十四年を標準として算出せんに四十四年には六十五萬四千噸の需要ありたれば是より十年後なる大正九年度に於ては假に二倍半の増加率とするも百六十三萬五千噸の需要あるべき筈にして昨六年度に於て百十八萬噸の鋼材需要ありたるは恰も適當なる需要額にして我國は鋼材輸入の困難なるに拘らず尙且つ至當の消費を取り居れる者と云ふへし而して此間に於て注意すべきは是か供給地の變化なりとす即ち戰前に於ける我國の需要は殆ど大部分輸入に仰けるものと云ふも不可なかるべく明治三十五年度に於て我需要鋼材二十一萬八千噸の中我國の產出に依れるものは僅に其一割五分弱たる三萬一千噸に過ぎず其後政府の銳意經營したる八幡製鐵所の漸次完成せるに依り四十三年頃より見るべき生産増加ありたるにも拘らず四十四年度の内地生産額は十九萬一千噸にして此年に於ける我鋼材需要は六十五萬四千噸なれば内地生産額は全需要額の三割に過ぎず需要鋼材の七割は外國よりの輸入に依りたるものなり而して歐洲戰亂勃發の前年たる大正二年に於ても我生産額は全需要額の三割三分に過ぎざりしなり然れ

とも日清日露の兩戰役に於て鐵材非獨立の爲慘憺の苦心を重ねたる政府當局者及び民間有識者の鐵鋼自給策は着々功を奏して歐洲戰勃發の大正三年に於ては二十八萬二千噸の鋼材を產出し得るに至り之を其十年以前たる明治三十八年の七萬一千噸に比すれば四倍に増加したる譯なり從つて之を我國の鋼材需要自然増加率の十年に二倍半なるに比すれば自給の方は一步進める譯にて明治三十五年には自國產出額は全需要額の一割五分に過ぎざりしに是より十三年後なる大正三年に於ては自國產出額は全需要額の三割三分を充すに至り漸次自給の緒に就かんとするものゝ如くなりしか此大正三年に於て歐洲大戰は勃發せり此大戰こそ實に我實業界に對し絶好の刺戟を與へ内地事業界の活躍に伴ひ鋼材の需要は更に其増加の趨勢を止めざるに輸入は増加する能はす從つて内地に於ける鋼材產額の増加を促し製鋼業は遂に異常の發達を遂くるに至れり。

大戰勃發以來の鋼材輸入額を見るに大正二年度に於ては五十四萬三千噸の輸入額なりしも翌三年度に於ては四十萬八千噸に減し四年度に於ては更に減して僅に二十四萬三千噸に減せり這是云ふ迄もなく英獨白諸國よりの輸入減少に依れるものと云ふへし左れと米國の漸次之に代るありて五年度には四十五萬噸の輸入額となり六年度には六十七萬噸に増加するに至れるか大正五年度に於て六十四萬噸の鋼材輸入ありしに比すれば僅に三萬五千噸の増加に過ぎず勿論

米國政府にして我需要に應じて無制限に輸出したるには輸入は幾分増加したるやも知れず元來米國は我國に對する鐵鋼の輸出國には非ざりしも英獨品の代用として我需要家の買付に依り鐵鋼材料として大正三年には六萬八千噸の輸入ありたるか四年には十三萬三千噸に増加し五年には二十九萬一千噸に増加し昨六年度には一躍して六十八萬に増加せり然れとも米國政府は國內軍需鐵材用と唱へて既約品を除きて鐵材の輸出を禁止するに至り茲に我鋼材輸入に一頓挫を來し輸入増加の趨勢を止めたり従つて歐洲大戰勃發以來鋼材輸入は其大勢に於て増加せずと斷言するを得へし然るに内地に於て鋼材需要増加の形勢如何と云ふに其最も需要を喚起したるは造船業の勃興なりとす即ち我造船業は戰前に於て常に外國に壓迫されるも船舶輸入杜絶と共に内國造船噸數は漸次増加し大正三年十三萬六千噸なりしもの四年には九萬八千噸に減したるも五年には二十萬噸に増加し昨六年度に於ては四十五萬噸に増加するに至れり従つて之が鐵材のみにても殆と二十萬噸を要し其外建築材料諸機械鐵道水力電氣建設等我事業界の好況に伴ひ益々鋼材需要増加の形勢を示し大正三年度六十六萬噸の鋼材需要ありしもの五年度には八十一萬噸に及び昨六年度に於ては遂百十八萬噸に及へり而も一方には輸入の増加を見る能はず自然の結果として内地の產額は増加せざるを得ず即ち大正三年度に於ては二十八萬二千噸なりしもの四年後なる昨六年度に

於ては殆と倍加して五十二萬九千噸となれり是れ即ちレコード破りの内地產額の増加なり而して此鋼材需要増加の大勢は二個の重大なる結果を齎して我鐵鋼業發達の素因を造れり即ち(一)鋼材騰貴に依る製鋼業の擴張及び新設(二)製鋼原料たる銑鐵騰貴に依る製銑業の擴張及び新設(三)鋼材騰貴の甚たしきは眞に驚くの外なく戰前一噸二百圓乃至二百二十圓なり鑄鋼品相場は昨今千二百圓を唱ふるに至り又戰前一噸百五十圓乃至二百圓なりし鍛鋼品は昨今八百五十圓を唱ふるに至り之に伴ひて製品市價の騰貴に因る各製鋼會社の利益は眞に驚くべきものあり日本鋼管會社の如きは投下資本に對して十二割の利益を挙げ五割配當を決行するに至り如何なる製鋼會社にても五六割の利益を挙げざるはなく嘗て缺損に缺損を重ねたる八幡製鐵所の如きも本年度の利益は四千萬圓内外を豫想され即ち投下資本に對して四割の利潤を挙げ得る形勢となれり而して事業利潤の増加は企業家の活躍を促さずんばあらず今や官設八幡製鐵所を初め日本鋼管、日東製鋼、大島製鋼、神戸製鋼、東海鋼業等の各社は何れも擴張増設に努め居れるか製鋼業の發展に依り第二の結果たる(一)製鋼原料たる銑鐵業の發展に至りては更に注目すべきものあり即ち戰前一噸三十五圓内外なりし銑鐵は昨今五百四五十圓を唱ふるに至りたるより今日の銑鐵市價にては一噸三百圓以上の利益あり斯くて事業の擴張新設を企つるもの増加し茲に製鐵銑業の大活躍を示

66 下に至れるか今此間の消息を更に數字を以て説明せん。

今我銑鐵需要か最近如何なる形勢を以て増加したるかを説明する爲め明治三十五年以降の銑鐵の需給關係を示さんに左の如し。(單位千佛噸)

年次	内地 產出額	輸入額	合計	製鋼 原料額	差引 需要額
明治卅五年	三九	三九	六八	—	—
同三十六年	三〇	三〇	六〇	—	—
同三十七年	六四	六四	一二八	—	—
同三十八年	七九	一五三	二三二	—	—
同三十九年	一四五	一〇三	二四八	一三三	一六六
同四十年	一四四	九六	二四〇	一八	一三三
同四十一年	一四六	九六	二四二	一三三	一〇九
同四十二年	一六五	一一九	二八四	一四三	一四一
同四十三年	一八九	一〇八	二九七	一八六	一一一
同四十四年	二〇四	一九五	四〇〇	一九八	二〇二
大正元年	二三九	二三三	四七二	二四七	二二五
同二年	二四三	二七三	五一一	二六六	二四五
同三年	二九九	一七三	四七二	二九七	一七五
同四年	三三九	一七三	五一二	三三八	一七四
同五年	三九一	二三三	六二四	推算 四三三	推算 二〇〇
同六年	五〇一	二三三	七三四	推算 五三三	推算 二〇〇

備考 此外毎年銑鐵としての少額の輸移出額あれど這は大正二年度に於て一千三百八十八噸の輸移出額ありたるを最多額とし其他は毎年三四

百噸乃至五六百噸に過ぎされは算入せず。

右表に於て大正五年及六年度の製鋼原料額は未だ不明なれば推算に依るの外なきか元來銑鐵其儘としての需要は鑄物及鐵管其他船舶の部分的材料のみにして左まで需要の増加すべき性質のものに非されは假に毎年二十萬噸として算出したるか大體違算なかるへし扱前述の如く鋼材の内地產額の増加に依り製鋼原料としての銑鐵の需要増加すべきは云ふ迄も無く明治四十一年に於て十二萬二千噸の製鋼原料銑鐵需要額ありたるか是より十年後なる昨六年度に於ては五十萬噸の製鋼原料需要額あり即ち四倍強の増加にして内地鋼材精煉用銑鐵需要額の増加は内地鋼材需要額の増加率たる「十年に二倍半」の割合を遙に超過するものと云ふへし兎に角以上の如き割合を以て製鋼用銑鐵の需要増加したる一方に於て此銑鐵の供給狀態如何と云ふに大正四年英國の印度銑鐵輸出禁止以來米國銑鐵の望み難きは勿論の事支那銑鐵も契約以外に多額の増加を爲す能はず昨六年度に於ても銑鐵輸移入總額は二十三萬二千噸なりしに過ぎず是れ即ち大戰勃發前たる大正一二年頃の輸入額と同一にして大正二年度に於ける二十七萬二千噸より見れば却て約四萬噸を減少せる譯なり斯く一方には製鋼原料として需要増加甚たしきに輸入は前述の如く増加する能はざるを以て一に内地產額の増加を俟たざるへからず幸にして八幡製鐵所の擴張も漸次完成し其他釜石製鐵、北海道製鐵、本溪湖煤鐵公司等

の産額増加あり大正三年約三十萬噸なりし内地製銑高は四年五年と漸次増加し昨六年度には五十萬噸に増加せり夫にても尙且銑鐵供給は不足にして市價の暴騰を來し戰前僅に一噸三十五圓内外なりし銑鐵は昨今五百四五十圓の高價を唱ふるに至れり而して是か生産費を見るに目下鐵鑛石も騰貴し居れと五〇パーセント内外にて一噸十五圓内外と見は大差なかるへし而して一噸の銑鐵を精煉するには二噸の鐵鑛石を要すへければ鐵鑛石代としては三十圓なり其精煉費としてコークス二噸を要すれば一噸五十圓として二噸にては百圓なり其外工賃及び資産償却として五十圓として合計百八十圓なり以上は工場製産費なるか此外工場より市場への運搬費として三四十圓とせば二百一二十圓の原價なり、されは假に五百圓に販賣し得たりとするも二百八九十圓の利益あり斯くの如き有益事業は尠かるへく日本銑鐵會社か今期より操業を始めたるに早くも投下資本に對して十割の利益を挙げ四割の配當をなすへしと云ふも必ずしも不可能の事には非ざるへく又斯くの如き銑鐵好況を見込みて銑鐵代用の再製銑鐵精煉會社か隨處に勃興して成績を挙げつゝあるを見れば今や製銑業は企業界に於ける最も有利なる事業なるか如し而して之か前途果して如何なるへきか聽て生産過剩を來して市價の下落を來すなきか這は一に今後に於ける鋼材の需給關係より來るものなれば以下再ひ其將來に於ける需給狀態を研究せん。

鋼材需要にして減少せは從つて銑鐵需要も減少すへし之れ即ち鐵鋼精煉業の沈衰を意味する者にして我鋼材の需要増減如何は鐵鋼精煉業の生命なり然らば今後に於ける鋼材需要額如何と云ふに我國は十年に二倍半以上の割合を以て需要の増加しつゝあるは既述の如くなるか今大正七年以後に於ける鋼材需要額か過去の割合を以て増加したりとして今後に於ける需要豫想額を表示せは左の如し。(單位千佛噸)

年次	内地生産額	輸入額	輸出額	差引
大正二年	三五四	五五三	七六五	
同 三年	二八二	四〇八	六九〇	六六一
同 四年	三三五	二四三	五七六	五五三
同 五年	三八四	四五四	八三六	八八九
同 六年	五五九	六七五	一二五	一一二二
同 七年	七七〇	六〇〇	一三七〇	一三五〇
同 八年	一二二〇	四〇〇	一五三〇	一五〇〇
同 九年	一、三七〇	三〇〇	一、六七〇	一、六五〇

以上の如く昨六年度に於ては百十八萬噸の鋼材需要額ありたるも從來の如き需要増加率を以てせば今年度に於ては百三十五萬噸の需要額あるへき譯にて明年度に於ては百五十萬噸の鋼材需要あり大正九年に至らば百六十五萬噸の需要あるへし此莫大なる需要額を何處より供給すへきかと云ふに輸入は今後絶對的に増加不可能にして却つて減少すへし這は云ふまでもなく米國の輸出禁止に因るものにして今

年度迄位は昨年よりの既約品あり又過般成立したる第一回及第二回鐵交換に依りて造船用鋼材の輸入あれば昨年度に於て六十七萬噸の輸入額ありたるより推算せば本年度に於ては少くとも六十萬噸の鋼材輸入額あるへし然れとも明年度に至らは既約品も漸次減少すべく明後年に至らは益々減少すへしか今後に於ける鋼材輸入は船鐵交換或は何等かの形に依つて行はるへく直に明年より鋼材の輸入絶無となるへしとは豫想する能はす其後と雖も尙三十萬噸程度の輸入はあるへきものと見るか至當ならん斯くの如くにして内地の需要増加するに輸入は減少する傾向を有せる故勢ひ内地産額増加せずんは止まざるへし之を假に明後年なる大正九年度に於て見るも百三十七萬噸の内地鋼材生産額を生ぜされは供給に不足を生すへしか果して斯くの如き多額の鋼材を生産し得るかと云ふに這は一に内地製鋼業の擴張如何に在り過去に於て我國の自然的生産増加か如何なる割合を以て進みしかを顧みるに戦前には十年間に四倍の割合を以て生産數量の増加したるは既述の如し既に外國品の輸入容易なりし戦前に於て十年に四倍の生産増加ありたるに徴すれば鋼製品市價暴騰し居れる時に於て十年に四倍の増加割合あるは勿論の事なり明後大正九年より十年前たる明治四十四年には十九萬一千噸の鋼材の内地生産額ありたるより推算すれば大正九年には八十萬噸の生産額あるへきは敢て困難に非ざるのみならず官設八幡製鐵所のみにて第三期擴

張の結果大正十年度に於ては約八十萬噸の鋼材を精煉すへき豫定なり此外民間に於て極力擴張し居れるは日本鋼管會社にして同社は目下建設中の工場完成せば明年度には優に一年十萬噸の能力を現すべく其外住友鑄鋼所、日東製鋼會社、大島製鋼所、富士製鋼會社等の各社は何れも目下擴張増設中なれば大正九年度に於て百萬噸内外の鋼材産額あるへきは豫想するに難からず然れとも一方需要鋼材は我國從來の需要増加の形勢を以てせば百三十七萬噸の内地産額なくは供給不足を來すべく惟ふに米國にして鋼材の輸出解禁を斷行せざる限り明後九年に至らば我鋼材供給額は需要額の三分の二に過ぎざる事となるへし果して然らば今後鋼材市價の暴落の如きは豫想する能はさるのみならず更に市價は騰貴するやも知れず即ち今日に於て各製鋼會社の續々増設され居れるは敢て不思議の事に非ざるへし。

米國の鋼材輸出禁止に因り我國に於ける需要鋼材は今後益々自給の必要に迫らるゝ譯なるか鋼材の供給に不足を來すへきは既に述ふる所の如し而して我鋼材の自給増加すれば増加する丈之か製鋼原料として銑鐵の需要増加すへきは言を俟たず斯くて米鐵禁止は我國に鋼材自給の道を開き遂に根本的に銑鐵自給策をも成功せしめすんは止まず既述の如く我國鋼材の需要額は本年度に於ては七十七萬噸とし明年度は百十二萬噸明後九年度には百三十七萬噸として是丈の鋼材精煉高を得るには何程の銑鐵を要するや又其銑鐵需

要額の中何程は内地に於て供給せざるへからざるやを觀測するに大凡左の如し。(單位千佛噸)

年次	内地 產出額	輸入額	合計	製鋼 原料額	差引 需要額
大正五年	三九二	二三三	六三三	四三三	一
同 六年	五〇一	二三三	七三三	五三三	一
同 七年	七〇〇	二三三	九〇〇	七〇〇	一五〇
同 八年	一、〇〇〇	二五〇	一二五〇	一、一〇〇	一五〇
同 九年	一、二〇〇	三〇〇	一、五〇〇	一、三〇〇	一五〇

以上の表に於て其根底を爲すものは製鋼原料の増加額如何に在り今日に於て銑鐵か五百四五十圓を唱へ居れるは一に此の製鋼原料としての需要の増加に因ること前述の如し鋼材一噸を精煉するには一噸二三分の銑鐵を要すへきを原則とすれと茲には銑鐵の需要を極めて内輪に見積り一噸の銑鐵にて一噸の鋼材を精煉し得るものとして算出せば明後九年度に於ては百三十五萬噸の銑鐵需要額あるへし而して支那銑鐵も此時に至らは幾分増加すへく假に之を二十五萬噸とせば九年度に於ては残り百二十萬噸の銑鐵を内地に於て精煉せされは製鋼原料の不足を來すへし而して明後九年度に於て百二十萬噸の内地銑鐵を要すとせば昨六年度に於て五十萬噸の銑鐵精煉高ありたるより見れば更に此上に七十萬噸を増加せざるへからず從來銑鐵生産額は十年前に三倍五六分の割合を以て増加したるを以て若し從來の如き増加割合を以て増加したりとせば明治四十四年に二十萬噸の

内地精煉高なりしに徴し大正九年度には八十萬噸の銑鐵を精煉するは困難の業に非ざるへし然るに此年に於ける需要は百二十萬噸にして供給は需要の三分二に過ぎす以上の如き銑鐵需要増加の形勢なるより目下銑鐵精煉業者が極力其生産増加に努め居れるも偶然にあらず今其計畫能力を示せば左の如し。(單位噸)

將來の銑鐵生産力

	七年度	完成後
八幡製鐵所	三五〇,〇〇〇	四〇〇,〇〇〇(九年)
東洋製鐵	—	三三〇,〇〇〇(十年)
滿鐵鞍山站	八〇,〇〇〇	一五〇,〇〇〇(九年)
釜石製鐵所	一〇〇,〇〇〇	一四〇,〇〇〇(七年)
北海道製鐵	七二,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇(八年)
三菱製鐵	六〇,〇〇〇	一〇〇,〇〇〇(九年)
本溪湖煤鐵	六〇,〇〇〇	九〇,〇〇〇(八年)
日本鋼管	五〇,〇〇〇	五〇,〇〇〇(八年)
中國製鐵	一六,〇〇〇	一六,〇〇〇
山陽製鐵	一三,〇〇〇	一三,〇〇〇
中國各製鐵	五,二七四	六,〇〇〇
日本銑鐵	四,〇〇〇	六,〇〇〇
栗木鐵山	三,〇九六	三,八〇〇
仙人製鐵	三,五〇〇	三,七〇〇
米子製鋼所	二,〇〇〇	二,〇〇〇

安來製鋼所

一、五〇〇

一、〇〇〇

—

其 他

五、〇〇〇

五、〇〇〇

—

合 計

八三、九七三

一三〇、四三〇

—

以上は擴張計畫完成後に於ける全能力なるか實際に於ては斯くの如く計畫通りに生産額あるべきものにあらす實際生産額は之より二割乃至三割方少きを例とする故明後九年度に於ては百萬噸内外の銑鐵實際生産額ありと見て大過なかるへし然れとも之を昨六年度に於ける銑鐵生産高か僅に五十萬噸なりしに比すれば恰も倍額なれば製銑業者は頗る努力する處なかるへからす假に百萬噸の銑鐵精煉高ありとするも尙二十萬噸の不足なり然らば即ち銑鐵市價の暴落の如きは到底豫想する能はさるのみならず前途益々強硬なるは勿論明年明後年の先物契約にて尙且つ四百四五十圓にて契約され居れるは以上の如き銑鐵需給の關係に依るものならん。

以上の如き銑鐵市價暴騰の結果最近に至り勃興し初めたるは再製銑鐵業なり戦前には我製鋼業者中製鋼原料として再製銑鐵の如きものを混用する者なく皆鐵鑛石よりの銑鐵を原料としたるものなるか現在の市價を以て採算せは鍛鋼品の如きは餘りに利益を見る能はさる状態なり即ち鍛鑄品一噸の製品を得るには一噸半の銑鐵を要すると見るか至當なれば若し昨今の暴騰せる銑鐵を使用するとせは假に一噸五百圓の銑鐵を使用するとしても銑鐵代のみに七百五十圓

を要し此外燃料代金及び製産費を加算せは優に八百圓以上なり然るに之か市價は八百五十圓乃至九百圓にして勢ひ銑鐵に代用す可きより安價のものを求めざる可らず是れ再製銑鐵の需要を喚起したる所以也假に一噸三百圓を再製銑鐵を銑鐵と半々の割合を以て混用するとせは製鋼原料銑鐵代にても一噸にて優に百五十圓方生産費を減少せしめ得へし勿論再製銑鐵を混用せは之か爲め鋼製品の脆弱となる恐れなきに非ざるも這は鐵の還元に充分なる時間を費さるに因るものなるか故に各製鋼會社にては還元に充分の時間を費して此缺點を除かんとするの傾向あり従つて幾分多量の燃料を要するを免れされと尙夫にても再製銑鐵を混用せは一噸にて殆ど百圓内外の生産費を節減するを得へし各製鋼會社は最初極めて少量の再製銑鐵を混用したるも漸次研究の結果近來は半々位の割合を以て混用するに至り現在も尙多量の再製銑鐵を混用して好製品を得るの途を研究しつつある有様なり元來銑力屑の如きは戦前に於ては敢て顧みるものなく無代に等しきものなりしか吳海軍工廠及び東京隅田川製鐵所に於て之より銑鐵を精煉する方法を案出したるより爾來再製銑鐵會社は隨處に勃興し銑力屑の如きは漸次昂騰して戦前三錢内外なりしもの目下一貫目六十錢を唱ふるに至れるか夫にても再製銑鐵製品一噸の原價は二百三四十圓見當なるか如し而して之か市價は二百九十圓乃至三百圓なれば一噸にて優に七八十圓の利益あり従つて各製銑業

業者が極力擴張増設に努め居れるは注目すべき現象なりとす今我東京附近に於て再製銑鐵精煉所及び擴張中のものを示せば左の如し。(單位噸)

精煉所	一箇年能力	擴張後
東京銑鐵會社	二、〇〇〇	一二、〇〇〇
帝國製鐵所	三、〇〇〇	一二、〇〇〇
隅田川製鐵所	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇
日本製鐵所	四、〇〇〇	八、〇〇〇
東京電氣精煉會社	三、〇〇〇	八、〇〇〇
關東製鐵所	四、〇〇〇	八、〇〇〇
大崎製鐵所	二、〇〇〇	五、〇〇〇
大正製鐵所	三、〇〇〇	三、〇〇〇
東京製鐵所	二、五〇〇	二、五〇〇
東京電氣製鐵會社	二、八〇〇	三、〇〇〇

以上の如くに再製銑鐵業の最近に於ける擴張は著しきものなるか茲に最も注目すべきは屑鐵の電氣精煉なり從來我が國に於て電熱を以て精煉したる合金鐵のみにして銑鐵の電氣精煉は日本鋼管會社の分身たる電氣製鐵會社の伏木工場か本年末より操業を開始する筈のみなりしに之に先つて府下淀橋なる東京電氣精煉會社にて電氣爐を建設し五月より操業を開始したるは頗る注目すべき現象にして電力精煉はコークス精煉に比し生産費の安價なる上更に製品は不純物の量少く純銑鐵多ければ原料を精選せば市價も普通の再

製銑鐵に比し七八十圓方上鞘に在り或は今後に於ては電氣再製銑鐵業の勃興を見るやも知れず斯の如くにして今や再製銑鐵は製銑業に次ぐの有利事業として益々發展せんとするの傾向なるか之か前途は如何、應て材料の點或は市價の點より銑鐵に壓倒さるゝか如き事なきか今や各製鋼會社は成るべく多量に再製銑鐵を使用し良好なる製品を製出する事を研究し居れる状態にて再製銑鐵業者側にて如何にせば純銑鐵業を精煉し得べきかを極力研究し燐、硫黃の如き不純物即ち銑鐵の性質をして脆弱ならしむる挾雜物の除去法を研究し居れり斯くの如く再製銑鐵業は今後益々發達せんとする形勢なるか之か材料たる屑鐵は永遠に供給不足を來す事なかる可きか是れ斯業に取りて一の重大問題なり元來屑鐵は再製銑鐵の原料たるのみならず製鋼原料として銑鐵と共に使用せられたるものなるか最近再製銑鐵業の勃興に因り同業者の材料買付頗る激烈なるものあり内地屑鐵の蒐集困難なるか如きも之とて市價の騰貴は益々供給を呼び起し從來我國に於て使用せられたる鐵類及び鋼類の古物は何等かの形に於て市場に現るゝのみならず從來何物にも使用する能はざりし古レール又は海中に沈没せる船舶の鐵材の如きも今日引揚げて再製銑鐵の原料となし居れる状態なり加之今日吾人か使用しつゝある鐵類及鋼類は日々屑鐵と化しつゝある譯なれば一方より見れば屑鐵は日々產出され居れる者と云ふべく屑鐵より再製銑鐵となり再製銑鐵より

更に鋼となり鋼は日々屑鐵と化す之を「鐵の循環」と云ふ鐵の循環は鐵價が高ければ高き程完全に行はる而して之か完全に行はるれば夫丈銑鐵の需要減すべく従つて我國の如き鐵鑛の含有量少き國にては再製銑鐵業は頗る研究を要すべき事業にして國家的意味より此新事業は頗る研究の餘地あるものと云ふへし惟ふに我鐵鋼業は英獨及米國の鋼材の輸入禁止より漸次製鋼業の發達を促し進んで其原料たる銑鐵及び再製銑鐵精煉業を勃興せしむるに至りたるか此形勢は更に其根底に遡つて最近には鐵鑛石市價を騰貴せしむるに至りたるか如し戰前四五圓なりし鐵鑛石は目下二十圓見當を唱へ居れるか騰貴したりと雖も僅に四五倍に過ぎず鋼製品の五六倍に騰貴し銑鐵の十數倍に暴騰せるに比すれば及はざる事遠し今度製銑業の隆盛に伴ひ必ずや鐵鑛石の需要大なるべく近き將來に於て鐵鑛石の漸騰を來すは豫想に難からず今日製鐵製鋼業に關係ある事業中何れか最も有利なるやと云ふに製鋼業は銑鐵市價の騰貴に従ひ漸次利潤を奪はるゝの形勢あり特に鍛鑄品の如きは米國より少量の輸入あり之と競争するの狀態にて鑄鋼品の如き夫々獨特の型を要するものに比し利潤少なき狀態なるか製銑業に至りては今や將に最も利潤多き事業なれと懸て製銑業も其原料たる鐵鑛石騰貴に依り利益減少するやも知れず然れとも鐵鑛石の騰貴は必ずしも悲觀するに及ばず由來我國は鐵鑛少なきに非ざるも品質低位なると山間或は僻陬の地に在り運輸の

便より從來の如き安價なる鐵鑛石代價にては何れも採算上不利なりしより採鑛するに至らざりしか鐵鑛の漸騰に従ひ相當なる運賃を支拂ふも尙且つ利益あるに至る可く斯くて我鐵鑛は漸次開發さるゝに至る可し即ち鐵鋼自給の根底に一步を進むるものと云ふへし以上は今後數年間に於ける我製鐵製鋼業の大勢にして鐵鋼需給の關係上到底今後市價の下落は望み難きを述べたり銑鐵頂絶の聲を聞く事久しきにも拘らず戰時中は絶對的に市價の下押しは困難なるへし。然れとも戰後は果して如何再び銑鐵三四十圓鋼製品二百圓に下落する如き事あらんか漸く發達の緒に向ひたる製鐵業は再び戰前の如き貧弱なる狀態に復するなきか以下更に此國家的重大問題を研究すへし。(中外)

●新鐵鋼研究所 (本多博士の談) 鐵鋼研究所に於て研究すへきものは彼の八幡、室蘭等の製鋼所に行はるゝ鋼鐵の製出又は鐵製品の製造ではなく鐵の合金の研究である鐵は世界の到る處に産出して量に於ても價格に於ても他の金屬より安價に供給せらるゝものであるに拘らず今日迄の文明は鐵其の儘を用ふることを知つて鐵の合金か、文明の利器各種のものに必要なことに餘り大なる注目を拂はなかつた飛行機ても自動車ても電氣機械てもその機械の改良の爲め種々なる材料を鐵の合金に要求して居るのか今日の狀態である其の一々の要求を満たすべく研究を行はんとするのか我研究所設立の目的である既に主目的は鐵の合金にあ

るけれども亦鐵以外諸種の金屬の合金を併せ研究する考へてある今後歩一步と文明が進むに隨つて應用物理に對する要求と期待が益多くなる鐵鋼研究所は即ち一要素を提供するものである寄附金二十五萬圓の中十五萬圓は研究所建築費に投し残り十萬圓で研究に要する諸般の設備をする筈である經常費として文部省に提出した豫算は無事大藏省を通過することと思ふか、建築物は分監跡に之を建てる考へてある來年八月頃までには建築設備一切の準備を整へたく思ふ此の事業は大學の附屬事業として經營するのて理科大学にはこの爲に二ツの講座を特設し講座擔任の教授及び助教授助手を置きて講義研究一切の事を是等の人々に於て受持つのである、完成は二ヶ年計畫となつてゐるか、明年度に於ては先づ以て一講座を設けて講義を開くと同時に研究に着手する段取になつてゐる、我か國理化學研究の歐米のそれに比して遙かに遅れてゐるのは我か開國の遅れた點より餘儀なき次第ではあるか、近時漸く勃興せんとする氣運に乗して今後の發達を計る爲めには研究機關を各所に起す必要がある、是かあれば集まる研究者が多くなり、社會も大なる注意を拂ふので研究の熱度も違つて來る、歐米に於ける大発見はこの種の氣分から生れたものが多い、田中館博士か過般米國へ渡る際予の研究に係るマグネツト鋼を見本として携へたか到る處で評判になつた此の結果先日、米國原器局長官から予の手許に賞讃の言葉を添へて製出供給し

て呉れまいかといふ依頼があつた、同國ナショナル、リサーチ、カンシユー(國立研究調査會)からは磁石鋼か米國の軍事に甚た必要なることを言ひ、そして現在日本ではとれ位出來るか一日の製造量はとれ程かといふ照會があつた又英國の有名なる冶金學者で鐵鋼所を主管するハッドフィールド氏からも見本を要求して來た製造權利の一部を買收して製造したき旨の申し込があつた、磁石鋼の改良は世界の各地で幾分宛試みられてあつたけれども孰れも極僅の改良に過ぎなかつた、余の磁石鋼は其中最もよいものよりも一段飛び離れて精巧に出來上つたので世界の耳目を牽ひたのであらう。

●過去十年間の銑鐵市價 歐洲大戰による我工業

界の勃興と英米國の銑鐵輸出禁止の影響とは云へ戦前と現時に於ける銑鐵相場を對比する時は眞に隔世の感なき能はず今明治四十一年八月以降の銑鐵相場の高低を見るに同年八月の兩月間は三十九圓十月より四十二年八月迄の十一箇月間は一圓安の三十八圓四十二年九月より四十三年二月迄の六箇月間三十七圓四十三三年三月より同八月迄六箇月間三十六圓と安値を何れも數月若くは一箇年以上持續し而も四十一年以降漸次歩調を辿り四十三年九月上旬三十八圓に十月には四十六圓と昂進し四十四年一月再び三十八圓と低落を告げたれとも二月中旬直に四十三圓に引返し以來同年七月及元年三月の二回に於て三十九圓を見し外最低四十圓

最高五十四圓中を上下しつゝ大正四年の十二月中旬に至れり要するに明治四十一年八月以降大正四年十二月中旬に至る約七年四箇月間に於て五十圓臺を突破せるは二年一月一回に過ぎず然るに四年十二月下旬に至りては一躍七十五圓に奔騰し五年中は七十七圓乃至九十一圓を高下したれとも六年二月百圓臺を容易に突破して以來今日迄一度の下押なく遂に昨今の如く五百圓臺を抜き我國創設以來未だ見ざるのは高値を現はすに至れり今元年以後七年間の高低相場を月別に示せば次の如し。(單位圓)

月別	元年	二年	三年	四年	五年	六年	七年 八月迄
一月	四二	五四	四二	三八	八〇	八三	三六〇
二月	四二	四九	四二	四〇	八〇	一〇二	三六〇
三月	三九	四九	四二	四二	八八	一〇三	三六〇
四月	四四	四七	四二	四四	八五	一四〇	三八〇
五月	四六	四七	四〇	四四	九一	一七五	四〇五
六月	四六	四六	四〇	四三	九一	一七五	四五五
七月	四四	四六	四〇	四三	八八	二三五	五〇二
八月	四九	四四	四五	四二	八八	三三五	五三〇
九月	四九	四四	四五	四二	八八	三三五	—
十月	四九	四四	四四	四三	八八	三三五	—
十一月	四九	四三	四〇	四四	八六	三三五	—
十二月	四九	四二	三九	七五	八五	三五〇	—

而して前記の如く大正四年十二月末に於て七十五圓と同

十一月に比し約三十圓方の昂騰を告ぐるに至りたるは英國の禁出の結果に依るも英國の禁出は既約品に對して迄も禁輸したるにあらざると尙銑鐵の大産國たる米國を控へ居りし關係上未だ以て百圓の關門を俄に抜く事を得ざりしか其後英國は更に印度にも禁出令を適用するに及びて漸騰歩調を辿り六年二月には遂に百圓を突破し引續き硬勢を持續したる矢先米國の禁出を傳へられ之か氣勢は一層硬化され二百圓も容易に進出し愈々實現と共に三百圓を抜き續いて本月の如き五百二十圓てふ未曾有の高値を見るに至れり。

●船鐵交換協議 船鐵交換同盟會東部に於ては本月四日午後三時同事務所に定會を開き三井(湯河)内田(進、八木)浦賀(今岡、近藤)三菱(伊藤)横濱(下田)淺野(淺野)及佐伯書記長の九氏出席劈頭モリス米大使を通し本國より當九月以降十一月迄に毎月二萬七千噸乃至三萬噸の船材を引渡すへき旨兩三日前入電ありたれば之か積取に關し現今米國の輸入禁止の結果として船腹の片荷は免れず即ち往航は閑散なれと復航は鐵材の外綿花機械類等にて滿腹すへきを以て各造船業者は可能的接近融和し船腹の調節に努むることを申合せ次てエフ、オー、ビーの解釋に就ては彼國慣習としてエフ、オー、ビーカーの意味なりとの事に條文通りを推せば當然本邦側は甲板積込を爲さしめ得る權利あるも該問題の解釋の相違より生ぜし差損約百萬圓は造船側に於て讓歩し折半負擔となし其代償として他問題に於て便宜

を得ることに意嚮大體纏り近く關西側の意見を徴したる上米大使に交渉することとし尙スケヂュール、ビー、シーに就ては既に一兩日前各社より彼國民間工場に註文を發したるも之に對し米大使をして期日の保證を爲さしむるは到底不可能事に屬すれば見合すに決し六時散會せり。

●兼二浦製鐵所近況

兼二浦製鐵所第一高爐は操業中なるか第二鎔鑛爐は既に九分通り工事進捗したるに付製鐵所にては八月若くは九月初旬頃迄に火入式を舉行するに至るべく鐵工場其他所屬工場も最早七分通り工事進工本年末には各工場略落成し始業の見込みなり耐火煉瓦工場は兼二浦停車場前より十二浦に通する道路中間、右手に建設しつゝあり同工場も最早七分通り進行し遅くも十一月初旬頃には事業開始の豫定なりといふか兼二浦製鐵所設置の爲め兼二浦の港灣に通する道路及び製鐵所以外の船舶陸揚場を失ひ同地方民發展上甚大なる影響を受くるに至り黃州郡廳に於ても之か善後策に行惱み久しく懸案中なりしか該道路は製鐵所に於て修築することゝなり月末より着手し既に三分通り出來し八月中旬には竣工すへし而して兼二浦と鐵山間中央に建設中なる新宅舎は總戸數七百戸の内既に五棟約二百五十戸は落成し居るも電氣未設の爲め未だ一戸も移住したるものなし鐵山所在地は漸次發展しつゝあり目下内地人三百人朝鮮人二千人支那人一千二百人餘にして尙増加の傾向あり其後、内鮮支人共融和しつゝありて目下人心至つて

鎮靜の狀態にありと。

●帝國製鋼計畫

豊田銀次郎、宮本茂實、内藤彦次、稻茂登三郎、野島舜三諸氏に依りて目下創立計畫中なる帝國製鋼會社は資本金三百萬圓にて先づ第一回四分の一拂込金七十五萬圓を以て東京附近の便利なる地所に於て約五千坪の敷地を購入し工場を建設し十噸平爐二基坩堝爐一基及び中型、小型工場を建設し年額七千二百噸の鋼製品を精煉すへき豫定なるか目下株式は緣故募集中なるも既に其大部分を了したれば九月中或は十月早々には創立さるべく會社設立の上は四ヶ月にして工場の操業を開始すへしと。

●高岡原鐵會社

高岡原鐵株式會社は過般其の成立間際に至り不備の點ありしを以て遂に解散を爲し更に高岡製針會社の事務扇谷良一帝國裝飾家具會社常務宮崎清庸及竹田磯右衛門、山村麻次郎、柴田太四郎、二上彌四郎、二上源介諸氏發企人となり後援者として吉野治平大場庄左衛門楠武平、濱松與三作諸氏も加はり金五萬圓を以て新たに高岡原鐵株式會社を創立する事となり尤も同會社創立の上は基礎鞏固確實なるは勿論、獨り戰時のみに走るへき事業にあらずして前途頗る有利のものなれば既に滿株の盛況に達したりと雖も尙商法の手續きを爲さざるを得ざるに付本月二十二日を以て株式募集の締切を爲し來る十月五日より七日まで其の第一回の拂込みを了し創立總會後遅くも同月下旬までには開業の運びに到るへしといふ因に同會社創立

事務所は高岡市末廣町千七番地に設置したり。

●**高速度鋼成立** 日本高速度鋼會社は二十八日午後一時帝國鐵道協會に於て創立總會を開き創立に關する諸事項を議了し會社の成立を告げたるか重役には左記諸氏を挙げたり。

▲取締役富田幸次郎(社長) 中溝多磨吉(事務) 岡崎賢次(常務)
中村半左衛門、宇田友四郎、川崎幾三郎、田中遜 ▲監査役 野中
幸左衛門、高橋信汎

●**朝鮮銑鐵創立** 京都、濱岡光哲、伊勢九鬼紋七、大阪、平尾猪之吉其他京阪神及當地有志發起にて資本金百萬圓の朝鮮銑鐵會社を創立し本社及工場を仁川に置き仁川銑鐵所を買收し鎔鑪三基を提付け一日三十噸の銑鐵を製造する筈なり十二月火入式を行ひ來年一月より開業すと(仁川電報)

●**大八洲製鐵増資** 今春二百萬圓の株式組織に變更せる大八洲電氣製鐵株式會社は今回安部幸之助、清水釘吉、河合幾治氏其他有力者の賛同を経て事業擴張を企て既に東京電燈會社より一千キロワットの供給契約を爲し目下東京田端附近に分工場建築中なるか十月竣功の上は月額生産一千噸内外となるべく此他本年中宇治電京都電燈よりも給電契約ある上東信水力、山陽水力とも交渉中にて増資の必要あるより本月二十四日の重役會に於て増資内定せるか金額其他詳細は更に協議する筈。

●**特許** ◎特許前號報告鐵鋼に關するものを摘録すれば左の如し。

第三三〇九〇號

(大正六年十月十七日出願
大正七年八月十四日特許)
特許權者 大阪府 關家英孝

鐵硬化劑

發明の性質及び目的の要領 本發明は含窒素有機物を乾餾して得る所の「タール」及び木炭炭酸「カリウム」「クロム」鐵石、大豆、過酸化滿俺の混合物を作り以て從來の方法により密閉容器に於て所要の鐵材を包繞灼熱し炭素燒き入れに用ゆる鐵硬化劑に係り其目的とする所は徐々に「デシアン」「瓦斯」を發生して炭滲作用を敏活ならしめ且つ「マンガニー」「シアン」化「カリウム」の生成により鋼に特有の大なる硬度と靱性を附與せんとするにあり。

特許請求の範圍 本文所載の目的に於て本文に詳記せし如く從來の方法により密閉容器内に於て鐵材に炭素燒入れをなすへき硬化劑として含窒素有機物の乾餾によつて得る所の「タール」及び木炭、炭酸「カリウム」、「クロム」鐵石、大豆、過酸化滿俺の混合物を作り灼熱して「シアン」化合物「クロム」酸鹽「マンガニー」「シアン」化「カリウム」を化生せしむべくせる鐵硬化劑

第三三〇九一號

(大正六年十月二十一日出願
大正七年八月十四日特許)
特許權者 大阪府 關家英孝

鐵材部分硬化の被覆物

發明の性質及び目的の要領 本發明は鐵材若くは鐵器に部分を限り炭素燒き入れを施すに際し他の炭滲に必要なき部分は軟鐵の儘存せしむべく其部分を包繞するに粘土及び長石末を混合し之に硅酸「ナトリウム」と「アルミニウム」鹽の混和液を混捏したる煉成物より成る被覆物に係り其目的とする處は完全に密着し且つ燒き入れをなすに當り被覆物中に一種の珪礬藥を生成することによつて質緻密となり炭素の侵害を防止するにあり。

特許請求の範圍 本文所載の目的に於て本文に詳記せし如く鐵材の部分硬化をなすに當り粘土及び長石末を混合して主體となし之に硅酸「ナトリウム」と「アルミニウム」鹽の混和液を加へたる煉成物を以て硬化に必要なき部分に處理する鐵材部分硬化の被覆物。

第三三二〇三號

（大正七年四月十四日出願）
（大正七年八月十四日特許）
特許權者 大阪府 關家英孝

銑鐵及鋼の製造法

發明の性質及び目的の要領 本發明は不良銑鐵或は屑鐵或は砂鐵若しくは鐵鑛石を原料とし其熔融劑として固形態炭素に溶め炭酸「アルカリ」液を滲潤し石灰窒素と共に適當の銑爐に装入し「シアン」化物を生成せしむることによつて鐵の銑融を速にし傍ら硫黃及び燐を排除し以て銑鐵を製造する方法に係り其目的とする所は反應生成物の作用により純良なる製品を得ると同時に熱量の經濟を圖り熔融操作を平易圓滑ならしむるにあり。

特許請求の範圍 本文所載の目的に於て本文に詳記せし如く不良銑鐵或は屑鐵或は砂鐵若しくは鐵鑛石を原料として冶金するに當り「シアン」化物の生成により鐵の熔融を助成する傍ら硫黃及び燐を除去する方法に於て炭酸「アルカリ」を以て滲潤したる固形態炭素と石灰窒素を混入することを特徴となしたる銑鐵の製造法

●亞米利加合衆國（ヘンリー、デュー・ヒッバード氏より東京工科大学井上匡四郎氏宛左の來狀ありたり。

一九一八年七月十八日

ニュー、ジャーシー州プレインフィールド

ヘヌリン、デュー、ヒッバード

東京帝國大學

子爵 井上匡四郎殿

拜啓

デュー、ジャー、リード氏（鑛山局副長）の勸告に依り一筆啓上仕候陳者貴國製鋼所中製品の品質、分量等の不完全又は製

出高の割合不充分なるものに付き御承知有之候へば何時にても小生冶金學術上に基き之が矯正方法に従事仕度と存居候

小生儀製品の不完全なる點を鑑別し其矯正法を指示可致尙平爐鋼爐を操業し好結果を得る方法をも教示致度と存居候然して小生は敢て工場職工の變更を勸告不致却て彼等の仕事上好結果を得る様補助致居候右の目的を以て小生儀近頃濠洲へ参り候處同地へ到着仕候際職工は一般に自分等の不成功は工場の設備と材料の不安全に基因すとて之を非難致居候處小生出發の頃には巧妙なる熟練職工となりて割増手當を受くる様相成り申候

尙閣下の御協力を願上度候 敬具